

2023年6月6日

J A 広島総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	電流知覚閾値検査を用いた、糖尿病神経障害の発症・進展に高血圧が与える影響の検討
倫理委員会承認番号	No.23- 30
研究の対象	1999年1月～2016年12月の間に、当院糖尿病外来に通院されて電流知覚閾値検査を受けられた方の中で、整形外科的疾患や症状のない延べ5000～6000件のデータベースです。
研究目的・方法	糖尿病神経障害は糖尿病で最も早期に出現する代表的合併症であり、高血糖の程度とその暴露期間の長さが発症・進展の主因と考えられてきました。しかし2年前、日常診療でCPT（3種類の感覚神経線維機能を選択的に評価できる知覚閾値検査）を実施した当院通院中の糖尿病患者さんのデータベース（延べ約1万5千件）での解析の結果、高血圧を合併する患者さんに神経障害が早期に出現する可能性がある結果を見出し、日本糖尿病学会で発表しました。今回同じデータベースを用いて、性・年齢・糖尿病の病型・罹病期間・HbA1c・BMIの各因子をpropensity score matching法という統計学的手法で一致させた解析集団を作成し、高血圧が神経障害の発症・進展に寄与する単独因子であるかどうかを明らかにします。また、高血圧と並んで糖尿病に高頻度に合併する脂質異常症の有無でも同様の検討を行い、独立した危険因子が否かも検討します。 データは、カルテおよび検体・生理検査結果の情報から、糖尿病の病型、年齢、性、糖尿病罹病期間、網膜症・腎症の程度、高血圧・脂質異常症の有無（治療薬の有無を含めて）、年間平均HbA1c値および神経障害関連情報（CPT・アキレス腱反射など神経検査所見・自覚症状）を抽出します。
研究に用いる試料・情報の種類	普段の診療で採取した血液検査および生理検査（保険診療を逸脱した検査項目は一切ありません）
外部への試料・情報の提供	一切ありません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名・IDなど直接個人を特定できる情報は削除いたします。 また、研究成果は学会等での発表を予定していますが、その際も集団での統計解析の公表のみであり、対象者を特定できる個人情報の提示は一切ありません。
利益相反の有無	有 ・ ☒ 無
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 糖尿病代謝内科 研究責任者：石田和史 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	特記すべきことはありません。